

宮城県感染症発生動向調査情報(第34週)

宮城県【平成25年08月29日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.8.19 ~ 8.25 ・ 第34週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市		宮 城 県 ( 含 む 仙 台 市 )				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第31週	第32週	第33週	第34週
水痘	3 0.60		2 0.40		3 1.00	4 0.80	1 0.50	20 0.77	33 0.57	2,510	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10				2 0.40	5 2.50	5 0.19	14 0.24	807	○→	↳→	→	
百日咳										13	→	→	→	
感染性胃腸炎	17 3.40	15 1.50	1 0.20	7 3.50	15 5.00	4 0.80	1 0.50	46 1.77	106 1.83	12,011	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	17 3.40	50 5.00	30 6.00	17 8.50	26 8.67	13 2.60	16 8.00	168 6.46	337 5.81	2,042	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑		2 0.20					3 1.50	4 0.15	9 0.16	441	→	→	→	
突発性発しん	4 0.80	3 0.30	5 1.00	2 1.00	2 0.67	3 0.60	4 2.00	17 0.65	40 0.69	1,242	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	12 2.40	21 2.10	10 2.00	11 5.50	8 2.67	28 5.60	6 3.00	61 2.35	157 2.71	1,475	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱		2 0.20					7 0.27	9 0.16	642	→	○→	↳→		
流行性角結膜炎							1 0.17	1 0.08	110	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	7 0.70	1 0.20	2 1.00	2 0.67	10 2.00	12 0.46	39 0.67	3,594	◎→	◎→	○→	○	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							1 0.20	1 0.08	8	→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	3 3.00	2 2.00	1 1.00	2 2.00	6 6.00	3 0.60	19 1.58	665	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		5 0.50			1 0.33	3 0.60	14 0.54	23 0.40	454	○→	○→	↳→	↳	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2		1	5	2	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病						4	9	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページ をご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>					
	不明発疹症													

今週の全数報告疾病

\*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし  
2類感染症: 結核  
    気仙沼管内 男性2名、仙台管内 男性1名、男児\*1名  
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)  
    仙南管内 女性1名  
    栗原管内 男性1名  
    登米管内 男性2名(第32週、関連)  
    仙台管内 男性1名、女性1名  
    腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
    仙南管内 男性1名、女性1名(関連)  
    大崎管内 女性1名  
    登米管内 女性1名(第30週)  
    仙台管内 男性1名  
    腸管出血性大腸菌感染症(O121)  
    大崎管内 女性1名  
    腸管出血性大腸菌感染症(O168)  
    石巻管内 女性1名  
    腸管出血性大腸菌感染症(O103)  
    登米管内 女児\*1名(第26週)、女性2名(第32週、関連)  
    腸管出血性大腸菌感染症(O111)  
    登米管内 男性1名(第32週)、女性1名(第33週)  
    腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)  
    大崎管内 女性1名(第33週)  
    栗原管内 男性1名  
    登米管内 男性1名(第30週)、女性2名(第33週、関連)  
4類感染症: レジオネラ症  
    仙台管内 男性1名  
5類感染症: 破傷風  
    仙台管内 男性1名  
風しん  
    仙台管内 男性1名(検査診断例)  
後天性免疫不全症候群  
    仙台管内 男性1名(第33週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]  
仙南、塩釜、大崎、栗原、気仙沼、仙台管内で警報継続中。  
登米管内で警報値を超えた。

[伝染性紅斑]  
気仙沼管内で警報継続中。

[ヘルパンギーナ]  
栗原、石巻、気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

登米管内	第30週採取分	腸管出血性大腸菌O型不明 1件
	第32週採取分	腸管出血性大腸菌O157 1件、O103 2件(関連)
	第33週採取分	腸管出血性大腸菌O111 1件、O型不明 1件
大崎管内	第33週採取分	腸管出血性大腸菌O121 1件
仙南管内	第34週採取分	腸管出血性大腸菌O26 2件(関連)

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第32週採取分 (8.5～8.11)	第33週採取分 (8.12～8.18)	第34週採取分 (8.19～8.25)
パラインフルエンザウイルス3型	1件	0件	0件
RSウイルス	4件	3件	3件
アデノウイルス	2件	0件	0件

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第32週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第18週以降増加が続いている。都道府県別では沖縄県(1.10)、長崎県(0.06)、福井県(0.03)が多い。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,305例と第25週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は減少した。都道府県別では佐賀県(2.96)、大分県(1.83)、宮崎県(1.75)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では山口県(1.69)、鳥取県(1.37)、広島県(1.34)が多い。**感染性胃腸炎**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(9.50)、島根県(6.91)、宮崎県(4.97)が多い。**水痘**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では富山県(1.28)、宮崎県(1.25)、福岡県(0.98)が多い。**手足口病**: 報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(21.03)、山梨県(17.92)、長野県(14.25)が多い。**伝染性紅斑**: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別では富山県(1.00)、新潟県(0.41)、宮城県(0.34)が多い。**百日咳**: 報告数は増加した。都道府県別では栃木県(0.06)、岡山県(0.06)、沖縄県(0.06)が多い。**ヘルパンギーナ**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では新潟県(10.46)、山形県(9.69)、高知県(6.13)が多い。**流行性耳下腺炎**: 報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.82)、高知県(0.80)、福岡県(0.80)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別では富山県(1.60)、宮城県(1.42)、愛知県(1.23)が多い。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。( )内の数字は定点当たり報告数となります。